

事業者：味の素冷凍食品株式会社



計画概要

製品流通の合理化を図るべく、輸配送最適化に向けた以下2つの活動を推進する。

1. 新たな物流拠点の整備等による在庫管理と輸配送の最適化の推進

幹線輸送が長距離であり、倉庫作業員への負荷が高い状況が顕在化している中継物流において、石川県に新たな保管拠点（DC）を設置し、在庫管理の効率化を図るとともに、輸配送の安定化、合理化を実現する。

2. モーダルシフトによる輸配送最適化の推進

トラックから鉄道や船舶への輸配送の転換を図り、モーダルシフト率上昇を推進する。

目標 令和8年4月～令和12年3月（%は令和7年比）

1. 新たな保管拠点（DC）の活用拡大により、北陸エリアでの輸送コストを9%削減する。
2. モーダルシフト率（モーダルシフトでの輸送距離/自社拠点間全ての輸配送距離）を18%以上増加させる。

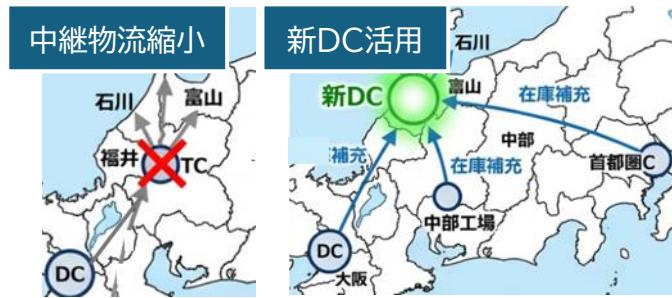
食料システムへの寄与

1. 計画的な配送・積載効率の向上を実現し、ドライバー不足などの物流課題の解決に寄与する。また、消費者のニーズに対応した店舗での適切な品揃えに貢献する。

2. モーダルシフト拡大によりドライバー不足や倉庫作業の負荷増大などの物流課題の解決に寄与する。また、人手不足のリスク軽減により、欠品や配送遅延のリスクを低減し、消費者がタイムリー・安定的に商品購入ができる環境の実現・維持に貢献する。

計画のイメージ

1. 新しい物流拠点の整備等による在庫管理と輸配送の最適化



2. モーダルシフトによる輸配送最適化の推進



(2025年12月19日認定)